

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	1	学校名	仙台市立東二番丁小学校	校長名	菅澤 和広
------	---	-----	-------------	-----	-------

- 1 取組のタイトル、テーマ
地球に優しく！



2 取組の紹介

(1) ペットボトルの虫かごづくり

- ・第1学年の生活科「いきもの なかよし」、第2学年の生活科「生きものなかよし 大作せん」の単元において、片平公園に行きました。一人一人が500ml ペットボトルを家庭から持参し、虫かごを作りました。



〈虫探しの様子〉

～虫かごの作り方～

- ① ペットボトルを、上から3分の1程度のところで切る。
- ② 切り口をビニールテープでカバーする。
- ③ 一つ穴あけパンチで、①の上部ペットボトル1箇所と下部ペットボトル1箇所に穴を開ける。
- ④ ③の穴にひもを通して、上部と下部をひもでつなげる（つづりひもが子供でも通しやすい）。
- ⑤ 虫探しの際には、下部ペットボトルに虫を入れ、上部ペットボトルは飲み口を下にして蓋にする。

(2) 広瀬川の自然

- ・4年生の総合的な学習の時間で、「広瀬川（川原近辺）の自然」について学び、多様な自然環境や保全の大切さについて学びました。ゴミ拾いも実施しました。



〈広瀬川の様子〉

(3) ゴミの分別

- ・各学級では、可燃ゴミとプラスチックゴミの分別を徹底しています。また、袋の口をしっかりとしばってから捨てるようにしています。
- ・職員室でも同様に分別を徹底しています。また、紙については、裏面がまだ使えるものは「裏紙」として再利用するようにしています。



〈各学級のゴミ箱〉



〈ゴミ回収場所〉



〈職員室のゴミ箱〉



〈職員室の用紙回収箱〉



〈裏紙用BOX〉

3 取組の成果（児童生徒の変容）

- (1) ペットボトルであれば、簡単に用意することができるため、1人1つ虫かごを用意することができました。そのため、思い思いの虫を捕まえたり、友達と協力して虫の種類ごとにかごを分けて捕まえたりするなど、工夫している姿が見られました。1、2年生ともに、虫かご作りから携わることで、意欲的に学習に参加することができました。
- (2) ゴミ拾いの活動を通して、「なぜ川に多くのゴミが落ちているのか」という疑問を持ちました。そこから、インターネットで調べたり、詳しい人に聞いたりして、理由として分かったことや考えたことをスライドにまとめました（「芋煮が行われているから」「公園が近くにあるから」など）。また、ゴミを減らすための私たちの課題についても考えました（呼び掛けの仕方やゴミを減らすための工夫等）。現在は、学校でできることについて考える中で、ゴミ拾い運動や技師の方からアドバイスをいただく等の活動に取り組もうとしています。
- (3) ゴミの分別について、声を掛け合う子供たちの様子が見られました。可燃ゴミとプラスチックゴミがどのように生まれ変わるのかを改めて話していくことも必要だと感じます。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

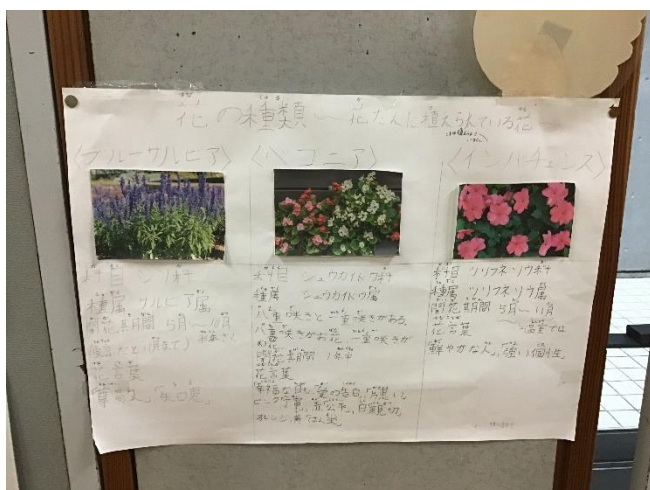
学校番号	2	学校名	仙台市立木町通小学校	校長名	原 新太郎
------	---	-----	------------	-----	-------

- 1 取組のタイトル, テーマ
緑化委員会による植物広報活動

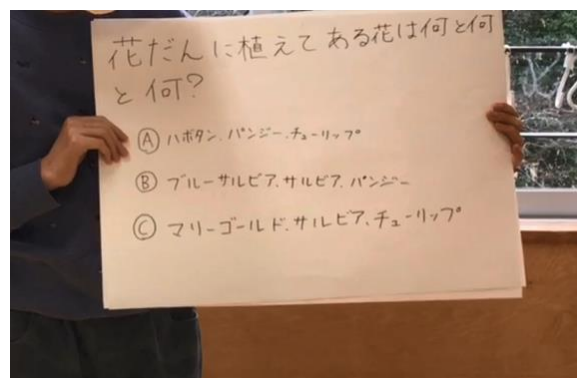


- 2 取組の紹介

本校の児童の多くは市内中心部を生活圏としていますが、学校に隣接する北三番丁公園には、四季を通じて色とりどりの植物が植えられています。また、校地内に多くの花壇が配置されています。そのため、日常的に植物を目にする児童は多く、植物への関心も高い傾向にあります。本校の委員会活動の一つである緑化委員会では、自分たちの活動を発信するとともに、より関心を持って植物と接してもらえるよう広報活動を毎年、様々な形で実施しています。今年度は、花壇に植えられている花を紹介したポスターや花に関するクイズの動画をつくりました。



植物について調べたことをポスターにまとめ、廊下に掲示しています。



花壇に植えられている花についてクイズをつくりました。

- 3 取組の成果 (児童生徒の変容)

全校児童が通る廊下に掲示したことで、通りかかった多くの児童が足を止めて記事を読んだり、クイズに答えたりしていました。クイズの動画は各クラスで視聴しました。ポスターを見た児童、クイズの動画を見た児童は、「花壇の花なんだ!」「初めて知った!」と興味を示している様子でした。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	3	学校名	仙台市立立町小学校	校長名	滝川 真智子
------	---	-----	-----------	-----	--------

- 1 取組のタイトル、テーマ
「自然との共生を大切にする児童の育成」



2 取組の紹介

杜の都の中心部に位置し、自然環境に恵まれている立町小学区の特徴を生かして、学習をしています。

(1) 全学年によるJRC活動

冬季を除く毎週木曜日に、福祉委員が中心となり、全校児童でのゴミ拾いや、落ち葉集めを行いました。また、一円募金や使用済み切手集めを毎週金曜日に行いました。



(2) 5年生 広瀬川の学習

総合的な学習の時間で、広瀬川の環境問題に取り組みました。広瀬川について調べたことを踏まえ、現地に足を運び、生き物の生態について学びました。



(3) 1・2年生 青葉の森の体験 (生活科)

通年、学区内の身近な自然である青葉の森に、校外学習に出掛けました。森の中の散策を楽しみ、動植物や自然の恵みについて、レンジャー(自然解説員)から指導を受けました。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

(1) JRC活動を通し、通行する地域の方々と挨拶をし、自分たちの地域をきれいにすることに誇りを感じていました。特に、落ち葉の季節は、保護者ボランティアの方の手も借りながら、たくさんの落ち葉を意欲的に集めていました。低学年は、校地内のごみや石拾いをし、高学年の様子を見ながら地域への関わり方を学んでいました。また、募金活動では、福祉委員による放送での呼び掛けを定期的に行うことで、より身近な活動に感じるようになりました。

(2) 広瀬川の学習では、ゲストティーチャーをお招きしてお話をうかがい、その後、現地で水生生物や広瀬川の環境などについて見たり触れたりしました。広瀬川の生態系について知り、命の不思議さや生命の尊さを感じているようでした。また、実際に川の中に入って水生生物を見ることで、生き物を大切にしたいという気持ちを持ったり、ごみが落ちている様子から身近にある広瀬川をきれいにしてほしいという気持ちを持つことができました。

(3) 青葉の森の探検では、様々な自然を感じるようになりました。特に川遊びでは、水の冷たさに驚いたり、水中生物を発見したりして、喜ぶ姿がありました。ヤゴを見つけた児童の感想文に、「トンボになったら、また会いたいです。」という記述があり、自然への愛着を持ったことがうかがえました。

来年度も自然との共生を大切にする立町っ子を育てていきたいと思えます。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	4	学校名	仙台市立南材木町小学校	校長名	佐々木 康之
------	---	-----	-------------	-----	--------

1 取組のテーマ

「自然とともに」



2 取組の紹介

日常的に自然に接する機会が少ないという児童の実態から、本校では体験活動を重視した活動を行ってきました。町場の学校に緑を増やして「森」を作り、鳥や虫たちの集まる場所にしようという目標を設定した「学校の森活動」に取り組んできました。この取組は今年で10年目になり、昨年同様、外部講師として、宮城県森林インストラクター協会の方々をお招きし、多くの体験活動を行いました。

1～3年生が校地内で季節毎の自然観察や虫取りを行い、4年生は県民の森での活動、5年生は「川で学ぼう」の学習で、広瀬川について調べ学習を行いました。実際に広瀬川に入り、生き物を探したり観察したりする活動などを行いました。昨年度に続き外部講師として、杜々かんきょうレスキュー隊事業の方々をお招きし、体験を通して様々なことを学びました。また、「海で学ぼう」では、6年前に植えた防災林の雑草取りをしたり、海岸のマイクロプラスチックごみを拾ったりする活動を行いました。

特別支援学級では、交流学級で各学年の活動に参加し、さらに、生活単元学習「野菜や花を育てよう」では、花壇にチューリップの球根や花の苗を植え世話をする体験活動を行いました。

3 取組の成果（児童生徒の変容）

【1・2年】

- 虫取りの網を使って校庭や学校の畑で虫を探して捕まえたり、観察をしたりしました。森林インストラクターさんが持ってきたカニの観察をしたり、世話をしたりしました。



【3年】

- 学校の周りを観察し、虫や植物など生き物探しをしました。森林インストラクターさんには、どんなところに虫が生息しているか植物の特徴を詳しく教えていただきました。



【4年】

- 校外学習で県民の森に出かけました。道を整備したり、植えた苗木が野ウサギに噛まれないように手入れなどをしたりしました。また、イノシシ除けのロープを張る活動も行いました。

【5年生】

- 学校の近くを流れる広瀬川について調べ学習をしました。「川で遊ぼう」では、橋の上から川の様子を観察した後、実際に川に入り、生き物を見付けたり川の流れについて観察したりしました。広瀬川に生息する生き物の特徴や河原の様子を興味深く観察することで興味・関心を高めることができました。外部講師の先生から多くのことを学ぶ良い機会となりました。
- 荒浜の海岸防災林の雑草取りを行いました。6年前に植えたもので植物の成長を感じるとともに、なぜ雑草取りが必要なのか、何のために植林するのかを学びました。また、ビーチコーミングではマイクロプラスチックを拾う活動をしました。紙コップいっぱい集め、海の環境保全の課題について体験を通して学ぶことができました。



【特別支援学級】

- 季節ごとに、花の苗を花壇に植え育ててきました。夏にチューリップの球根を掘り、倍以上増えた球根を上手に管理し秋に再び植えました。植え付けの準備から土作り、苗をどのように植えると皆が喜ぶかを考えました。植えた後には水やりや雑草取りなどをして世話をしたり観察したりする活動をしました。今後も、これらの活動を行うことで、自然や生き物に親しみ自然を大切に育てていきたいと思えます。



令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	5	学校名	仙台市立東六番丁小学校	校長名	鳩原 淳子
------	---	-----	-------------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

人にも自然にもやさしい環境づくりへの取組



2 取組の紹介

●資源を大切に取る取組

各学級、特別教室などの各教室において、「燃えるゴミ」「プラスチックゴミ」の表示を付けたゴミ箱を設置しています。普段から資源を大切にすることを意識を持たせるようにするためです。また、捨てる際にも袋の空気を抜いてしぼるなど、容積が少しでも減るよう工夫する様子も見られるようになりました。「これはどっちのゴミだろう」と考えてから捨てる場面が増え、分別することが日常化してきています。



●委員会での取組

本校のビオトープ・栽培委員会では、秋には落ち葉集めを実施しています。雨や雪で児童が転ばないように、そして安全に楽しくビオトープを利用してほしいという思いを持ち、使う人のことを考えて活動しました。ここでも1袋にできるだけ落ち葉を詰めることで、使用するゴミ袋を減らそうという工夫も見られました。また、中庭の花の植え替えも行っており、自然に触れ気持ちの良い学校生活を送ってもらうために日々の活動に取り組んでいます。

●節水・節電・蓄電

教室を空ける時やトイレを使った後には電気を消すこと、手洗い場やトイレでは大切に水を使うことなどを呼び掛けています。また、屋上に太陽光パネルを設置し、平常時の節電を進めるとともに非常時のための蓄電を行っています。



●給食週間を通して

1月23日～27日は給食週間でした。日頃いただいている給食に関心を持ち、感謝の気持ちを伝えることをねらいとしています。4年生は、「残さず食べよう おいしい給食」等のポスターを作成しました。残食を減らせるよう、苦手な食べ物も一口は挑戦している姿が見られました。また、県内の食材や旬の食材が使われている献立のため、食への関心も高まっています。



3 取組の成果 (児童の変容)

エコに関する取組を授業や委員会活動を中心とした学校生活全体を通じて継続してきたことで、児童のエコに対する意識が高まっています。自然も人も大切にするという気持ちが高まってきているため、今後は自然を大切にすることが自分たちの生活とどうつながっていくのかについて考えを深めさせたいと思います。また、資源を大切にしようという気持ちも高まってきました。SDGsについて、自分たちのこととして考え、学校や家庭でできる小さなことから始められるように考えていきたいと思っています。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	6	学校名	仙台市立荒町小学校	校長名	田辺 泰宏
------	---	-----	-----------	-----	-------

- 1 取組のタイトル, テーマ
「環境委員会によるエコ活動の推進」



2 取組の紹介

① 学校全体のごみの排出量の計測

環境委員会では、全校のごみの量に関して課題意識を持ちました。定期的な校内のごみの量を計測し、重量と種類を明確にしました。減量するための一歩として、牛乳パックのかさを減らすことを目標にしました。たたみ方の改善を呼び掛けるポスター作りや放送を行いました。



② 牛乳パック工作グランプリの実施

給食中に出る使用済み牛乳パックを用いて、全校で有志の児童による作品づくりを行いました。本来であれば廃棄してしまうはずの牛乳パックが、児童たちの創意工夫によって魅力的な作品に生まれ変わりました。最後は環境委員が作品を審査し、優秀作品を決めた上で表彰を行いました。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

本取組をとおして、「ゴミを削減しよう」、「資源を再利用しよう」という意識が高まっています。子供たちの中でも、ゴミの分別を積極的に行う姿や、使い終わったものを捨てずに再利用する姿も見られるようになりました。

今年度の取組を更に発展させるために、環境委員会を中心として、引き続き環境保護のための啓発活動や、体験活動を取り入れていきたいと思っております。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	7	学校名	仙台市立片平丁小学校	校長名	我妻 良行
------	---	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

～身近なエコ活動に, みんなで取り組もう～



2 取組の紹介

【学校全体の取組】

① ごみの分別活動

・各学級で分別したごみは, 全体のごみ置き場で種類ごとに回収しています。表示に従って, きちんと分別して捨てることを心掛けています。また, できるだけごみを小さくして, 回収バケツがいっぱいにならないように気を付けています。ごみ置き場付近に落ちているごみを進んで拾う児童の姿も見られます。



② 校内の環境整備

・職員室でも, リサイクルに取り組んでいます。教師が率先して取り組むことで, 環境を大切にする意識が高まっています。



【環境についての学習】

* 4年生の取組「水はどこから」

・普段, 生活の中で使っている水がどこから供給され, どのように循環されているのかを学びました。ダムは, 川の水の量を調節したり, 発電したりする働きがあることや, 上流にある水源の森は, 降った雨水を蓄えるダムのような働きをしていることが分かり, グループ新聞にまとめました。



3 取組の成果

ごみの分別収集や校内の環境整備など, 毎日の活動を丁寧積み重ねていくことで, 児童それぞれが自分事として環境に対する意識を高めることができました。

また, 環境についての学習をすることで, 「行動に移すこと」の重要性に気付き, 自然を大切にするだけでなく, 他者を思いやる気持ちの大切さにまで, 考えを深めることができました。

今後も, 身近な取組を大切にしながら, 児童の意識を高めていきたいと思ひます。



令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	8	学校名	仙台市立上杉山通小学校	校長名	鎌田 康彦
------	---	-----	-------------	-----	-------

1 取組のテーマ 「わたしたちができる身近なエコ活動」



2 取組の紹介

(1) 朝の落ち葉掃き【6年生が始業前の時間に活動】

校門前の愛宕上杉通には立派なイチョウ並木があります。秋になるとそのイチョウがたくさん葉を落とします。そこで、6年生が職員と一緒に朝8時から歩道の落ち葉掃きをしています。道行く人々も、子供たちに声掛けして下さるなど、自己有用感の向上にもつながっています。



(2) 緑化活動

愛宕上杉山通に面する一画に「上杉フラワーあいさつロード」があります。この花壇には、毎年緑化委員会の子供たちが季節の花を植え、水やりや雑草取りの世話をしています。今年は、夏にコリウス、センニチコウ、メランポジウム、冬にはビオラ、ナデシコなどの今まで植えたことのない苗を植えてみました。子供たちは、興味・関心をもって植えました。また、今年では来年度の全国都市緑化フェアへのアートプランター出展に向けて、4・5・6年生がそれぞれ目標をもって一生懸命頑張って取り組みました。4年生は、プランター一つ一つにクラスごとに配列を考えてパンジーやチューリップの球根を植えることができました。5・6年生の緑化委員会のメンバーは、プランターを彩る枠の板に、それぞれ下書きした絵を元にして丁寧に色を塗り時間を掛けて完成させることができました。



(3) ごみの分別・リサイクルの推進

各教室に三つのゴミ箱を用意し、普通のごみ・プラごみ以外にも感染症対策用のゴミ箱を用意して、エコだけではなくて感染症対策に努めています。奉仕委員会では、ペットボトルキャップを集めて、担当の職員がリサイクル業者に運んでいます。職員室ではリサイクルボックスを活用し、裏紙の利用を積極的に推進しています。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

6年生による朝の落ち葉清掃では、各学年の先生方と一緒にいたり、技師の方々と取り組んだりすることによって、多くの交流が生まれ、成長の跡が見られます。

緑化委員会の活動では、上杉あいさつフラワーロードへの植樹以外にも、今年度はアートプランターをクラスごとに作成したことで、友達同士チームワークを生かして知恵を出し合い、すてきなプランターの絵ができました。

ごみの分別・リサイクル活動では、長年取り組んできたこともあり、今では子供たちにも根付き習慣化しています。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	9	学校名	仙台市立通町小学校	校長名	佐藤 正文
------	---	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル・テーマ



「ごみを分別し地球に優しく、花を咲かせて笑顔いっぱい、生き物と共にくらせる学校に」

2 取組の紹介

(1) ごみの分別活動

各学級では、燃えるごみ、プラスチックごみ、古紙に分別しています。給食時に出るストローの袋などのプラスチックごみをきちんと分別したり、古紙の裏面を再利用したりするなどエコ活動に取り組んできました。

(2) 環境に関する児童の意識を高める活動

① 学校内の環境整備

委員会活動の一環として、各教室から出た古紙を回収し、ルールに沿って古紙分別をしています。またトイレをきれいに使うように呼び掛けるポスターを作成して掲示したりプランターに季節の花を植えたりして、明るい学校作りに貢献しています。気持ちよく学校生活を送れるように環境整備に取り組みました。



② 生き物の飼育

学校の水槽でドジョウとメダカの飼育をしています。委員会で毎日えさやりをし、めだかの飼育日記をつけて全校児童に生き物への興味を持ってもらえるよう工夫しました。児童は水槽の前を通る度、水槽の中の生き物を興味深そうに観察しています。

(3) たてわり地域清掃活動

児童会活動として、たてわり班ごとに地域の寺院や神社に清掃活動を行っています。落ち葉を集めたり、落ちているごみを拾ったりと地域の清掃活動に取り組んでいます。清掃活動を通して異学年の児童が協力し合い、交流の場をつくることができました。



3 取組の成果

個人個人が行うごみの分別や学校の環境整備、地域の清掃活動を通して、児童は身近な環境をよりよくするために主体的に考えて活動することができました。他学年や地域の方々との関わりをとおして、学校や地域の一員としての意識を持ち、住みやすい町作りを意識しながら行動することの大切さを学ぶことができました。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	10	学校名	仙台市立連坊小路小学校	校長名	藤原 秀晃
------	----	-----	-------------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

～身近なエコ活動を学校みんなで～



2 取組の紹介

① 全校落ち葉拾い

連坊小路小学校の校庭には、学校のシンボルである大きなイチョウの木があり、秋には環境委員会や緑化委員会を中心に毎年落ち葉拾いを行っています。

今年度も、兄弟学年で協力し、たくさんの落ち葉を集めることができました。児童の中には「連坊小路小学校の伝統の一つであり、これからも大切にしていきたい。」という声もあり、学校全体で、学校をきれいにしようという意識を高めることができたのではないかと思います。

また、5・6年生は校門前の歩道の落ち葉掃きをし、学校周辺の環境美化のための奉仕活動を行いました。



② ごみの分別

連坊小路小学校では、各教室にプラスチックごみ用（ピンク）と一般ごみ用（水色）の2つのごみ箱を設置しています。2つのゴミ箱を視覚的に分かるように設置することで、進んでごみを分別できるようにしています。学級内で出たごみは校内のごみ置き場に集まりますが、ごみ置き場にも同じ分別の表示があり、掃除の際など、学年を問わず分別しやすい環境を整えています。また、職員室内でも分別を徹底し、学校全体でごみの分別を推進しています。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

学校全体での取組を継続して行うことで、児童のエコ活動や環境美化活動への関心は年々高まっています。今年度は、昇降口の傘立ての整理整頓、玄関の雪かき等、児童が主体的に校内環境整備を行う様子が多く見られ、これまでの取組の成果が表れていると思います。

今後は、これまでの取組を継続するとともに、環境について学んだことを実生活に生かしていけるように、努めていきたいと思っています。

